

IKK 石川金網株式会社

TEL.03-3807-9761 FAX.03-3807-9764
URL <https://www.ishikawa-kanaami.com>代表者：代表取締役社長 石川 幸男
所在地：〒116-0002 荒川区荒川5-2-6
資本金：3,000万円
従業員：30人創業年：大正11年
業種：金属製品加工業
事業内容：各種金属フィルター・パンチングメタル
の製造販売、織金網の製造販売、他石川 幸男
代表取締役社長

先駆けとなる製品展開を加速

創業96年の現在まで一貫した金網専門メーカーで、現代表取締役社長の石川幸男氏は3代目。「顧客第一主義」を経営方針に掲げ、顧客ニーズに沿った製品提供に徹し、品質・価格・納期を重視した事業を推進している。

現在の主力は産業分野の製品。貴金属や合金などの素材を加工した金網製品は自動車などの部品として使われ、液体・固体・気体を問わず不純物を取り除く工業用フィルターは工作機械、化学機械装置などの必要不可欠な部品となっている。建築分野にも注力し、デザインを施した金属メッシュの芸術品といわれるデザインパンチングパネル「パーフォアート」を戦略商品に、チタン金属線で織り込まれた「黒チタン金網」などが需要を広げている。このほか、医療分野の製品開発など新市場の開拓を並行させ、現在の製品構成は、工業用60%、建築用・その他40%の割合。

多品種・少量生産体制を確立

本社のある荒川区に工場を持ち、新鋭設備による大量生産はもとより、多様な顧客ニーズに応える「多品種・少量生産」体制を敷く。工場には、職人技から生まれた自社開発の装置や治工具が多く備えられ、他社にはない効率的な生産システムを確立している。これらハードの充実と、培った製造ノウハウを背景に、顧客のパートナーとして研究開発や試作の段階から製品づくりを進めていく点に大きな特徴がある。また、平成23年にはイタリアの有力金網メーカーのガウデンツィ社と相互業務提携を締結し、グローバルな事業展開を強化している。

画期的な新製品開発で話題を集める！

当社が扱う金網には、貴金属、レアメタル、合金などの金属製やプラスチック製などの種類がある。それらの材質を曲げ・折り・絞りなど自由自在に成形し、織物のように平織・綾織など様々な織り方をするとする金網加工技術



「おりあみ/ORIAMI」

を得意にしている。これらの蓄積した技術を製品づくりの基本にしつつ、時代の変化に即した最先端テクノロジーとして進化させていくフレキシビリティが持ち味でもある。

平成26年、金属でありながらしなやかな折り紙に代替できる金属折り紙「おりあみ/ORIAMI」の開発に成功。伝統文

化に切り込んだ“世界初”の新製品として大きな反響を呼び、台東・荒川・足立・墨田・葛飾区で構成する「第10回TASKものづくり大賞」の大賞を受賞。平成27年から本格販売し、新たな事業の柱に育てる方針だ。



「おりあみ/ORIAMI」の作品例

新分野を切り開く創造型企業へ

今後さらに、「事業展開のネットワークを“網の目”ように広げて技術を磨き、一つずつ新たな需要を掘り起こして、ブランドイメージを確立したい」（石川幸男社長）とし、5S活動に参画して、全社ぐるみで経営の活性化にも取り組み、「様々なテーマに挑戦し、新分野を切り開いていく創造型企業を目指す」姿を描いている。

先進的技術を蓄積し、
多様な顧客ニーズに対応

金網とパンチング（打抜き）メタルのパイオニアとして「石川金網にしかできないモノづくり」を基本に据え、多品種・少量生産体制を整えて、多様化する顧客ニーズに対応する。先進的な独自技術を蓄積し、民生用、産業用、建設用の各分野で先駆けとなる金網製品を提供しつつ、産学連携を含むネットワークを広げて新技術・新製品開発を積極的に展開するのも特徴。さらに、材質・織り方・加工法を変えた最先端テクノロジー分野の製品開発にも力を入れ、創造型のオンリーワン企業へ邁進中。

④主な保有設備

金網手織り機、金網用スリッター、金網用自動裁断機、ワープレス、金網溶接機など

④主な認証・実績等

- ・ISO9001：2008認証取得
- ・平成26年度「がんばる中小企業、小規模企業者300社」認定
- ・東京ビジネスデザインアワードのテーマ賞・優秀賞受賞
- ・経済産業省「MORE THAN プロジェクト」に採択
- ・「第10回TASKものづくり大賞」の大賞受賞

